

情報モラル教育実践授業報告書

対象学年	小学校5年生
領 域	教科指導（社会科）
指導項目	情報を生かすわたしたち「情報活用のルールやマナー」

情報モラル指導モデルカリキュラム (http://kayoo.org/moral-guidebook/model/model-curriculum.html)			
指 導 分 野	法の理解と遵守		
コ ー ド	c3-1	指 導 事 項	何がルール・マナーに反する行為かを知り，絶対に行わない意識をもつ。

授業前の児童の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・自分専用のスマートフォンやタブレット端末を所持している児童が5割を超えている。家族の端末を使っている児童を含めると，ほぼ全員がスマートフォンやタブレット端末を利用している。 ・夜遅くまでスマートフォンやタブレット端末を利用して寝不足になっていたり，友人同士で動画を撮影しネット上にアップしたりしている児童がいる。 ・SNSでのやりとりで，嫌な思いをしたことがある児童が数名いる。
児童の心理的成長過程に応じた指導の工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・自分のことを客観的に見ることができる学年であり，スマートフォンやタブレット端末の利用について，自分が陥りやすそうなトラブルについて考えさせる。 ・これだけは絶対に守るという約束事を決めさせ，情報活用宣言をつくらせる。
期待される児童の変容（ねらい）	<ul style="list-style-type: none"> ・スマートフォンやタブレット端末の利便性だけでなく，危険性について知る。 ・自分が陥りそうなトラブルについて，どのような予防法や対処法があるかを考え，情報モラルを身に付けることの大切さに気付く。
児童の変容を促すための授業の工夫（ポイント）	<ul style="list-style-type: none"> ・これまで道徳や総合的な学習の時間で取り上げたスマートフォンやタブレット端末の利用における危険性について振り返らせる。 ・自分が陥りそうなトラブルについて考えさせた上で，これだけは絶対に守るという約束事を決めさせ情報活用宣言をつくらせる。
利用するコンテンツ等（サイトのアドレス）または資料等	<ul style="list-style-type: none"> ・やってみよう 情報モラル教育 http://jnk4.info/www/moral-guidebook-2007/shido/pdf/checksheet.pdf 「情報モラルチェックシート」（児童生徒用）

<事前アンケート>

- ・自分専用のスマートフォンやタブレット端末の所持率が50%を超えていた。(39人中20人)
- ・家族の端末を使っている児童を含めると、スマートフォンやタブレット端末の利用率は94.8%であった。(39人中37人)
- ・スマートフォンやタブレット端末の用途は、ゲーム(71.8%)、動画視聴(56.4%)、SNS(48.7%)、調べもの(20.5%)であった。(複数回答可)
- ・スマートフォンやタブレット端末の利用に関するルールがない家庭は40.5%であった。(37人中15人)
- ・SNSを利用して嫌な思いをしたことのある児童が4名いた。

<事後アンケート>※自由記述

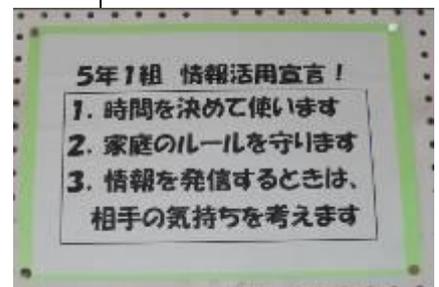
- ・時間を守って利用したいと思った。(多数)
- ・決められたルールが守れなくなってしまいそうときは、自分から親に預ける。
- ・これまで何も気にせず動画をアップしていたけれど、個人情報の扱いに気を付けなければいけない。
- ・ゲームは好きだけど、課金には気を付けたい。

評価

児童について	<p>児童の興味・関心の度合い</p> <p>1. 低 2 3 4. 高</p> <p>理由・感想等 自分専用のスマートフォンやタブレット端末の利用について振り返り、問題点や改善策を考え、話し合ったり発表したりすることができていた。</p>
	<p>児童の理解度</p> <p>1. 低 2 3 4. 高</p> <p>理由・感想等 自分が陥りそうなトラブルについて考え、その予防法や対処法を考えることができていた。</p>
	<p>児童の変容の度合い</p> <p>1. 低 2 3 4. 高</p> <p>理由・感想等 ゲームに熱中するあまり、睡眠時間が不足していた児童が「ゲームの利用時間を決めてそれを守りたい」と答えていたり、スマートフォンやタブレット端末の利用に関する家庭のルールを守れていないと答えていた児童が、「これからは守りたい」と答えていた。</p>
授業について	<p>事前準備の難易度</p> <p>1. 難 2 3 4. 易</p> <p>理由・感想等 ワークシートは、自由記述のスペースが確保されていれば十分であり、資料もネット上にあるものを活用すればよい。</p>
	<p>指導者にとっての授業展開の難易度</p> <p>1. 難 2 3 4. 易</p> <p>理由・感想等 児童のスマートフォンやタブレット端末に対する経験や知識が多いので、スムーズに授業展開できる。</p>
	<p>授業の「ねらい」の達成度</p> <p>1. 低 2 3 4. 高</p> <p>理由・感想等 学習のまとめの場面で、SNS やゲームを利用したことがない児童でも、「利用するときは気を付けたい」と考えることができていた。</p>
	<p>指導方法の効果の度合い</p> <p>1. 低 2 3 4. 高</p> <p>理由・感想等 スマートフォンやタブレット端末の利用は今後も増えていくので、本実践だけでなく継続的に指導を続けていくことが大切だと感じる。</p>
<p><実践の感想及び反省点等></p> <p>事後アンケートの結果から、「スマートフォンやタブレット端末は便利だが、使い方には気を付けなければいけない」「ゲームをするならば、制限時間を設定しなければいけない」など、自分の陥りやすいトラブルに対する対処法や予防法を考えさせることができた。スマートフォンやタブレット端末の操作に堪能な児童が多く、自分のことを客観的に捉えさせることができ、本実践は効果的であった。より効果的なものにするためには、継続的かつ計画的に、情報モラルの指導に取り組む必要があると感じた。</p>	

実践例

配当時間		学習のすすめ方	指導のポイント
導入	12分	<p>1 スマートフォンやタブレット端末の取り扱いについて学習してきたことを振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調べたいことがあったときにすぐに調べられるから便利だ。 ・ゲームをしすぎて寝不足になってしまうことがある。 ・家庭のルールを守らなければいけない。 <p>2 情報モラルチェックシートで自分の情報モラルを振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・使う時間を決めていなかった。 ・思った以上に気を付けなければいけないことがたくさんある。 <p>3 本時のめあてを知る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">情報活用宣言をつくろう</div>	<ul style="list-style-type: none"> ・これまで総合的な学習の時間や道徳で学習してきたことを振り返らせる。 ・小中学生が巻き込まれた事件報道なども取り上げる。 ・情報モラルという言葉とその意味を確認させる。 ・情報モラルチェックシートで自分が知らなかったり、守れていなかったりする項目がないかを確認させる。
展開	28分	<p>4 情報活用宣言をつくる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・使う時間が長いので、時間を制限する。 ・友達を傷つけないので、大事なことは直接会って話すか電話する。 ・お金がかかるので、課金は絶対にしない。 ・使い過ぎだと気付いたら、親に預かってもらう。 <p>5 グループで話し合う。</p> <p>6 情報活用宣言を用紙に記入し発表する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自分が陥りそうなトラブルを基にして考えさせる。 ・それを設定した理由も書かせる。 ・情報活用宣言を理由とともに伝えさせる。 ・他人の意見を聞いて、いいと思ったものは書き加えてもいいことを伝える。 ・出てきた意見から、3つを選ばせ、クラスの情報活用宣言三箇条にする。
まとめ	5分	<p>7 本時のまとめを聞き、授業の感想を書く。</p>	



情報モラル教育を広げるための方策と課題

情報モラル教育を広げるための実践	<ul style="list-style-type: none">・授業実践の様子を他の教員に参観してもらい、その後に協議会を行った。・5年生の学年だよりや、生徒指導担当から長期休業前に児童に配付する「生活のきまり」に、スマートフォンやタブレット端末の利用についての注意を促す文面を載せた。
情報モラル教育を広げるための課題	<ul style="list-style-type: none">・授業参観や協議会を行うだけでなく、どの教員にも実践してもらうことが必要である。・学校公開日等において取り扱うことで、保護者の意識も高めるきっかけにする必要がある。